

大項目		中項目		小項目		回答
1	基本仕様	1	共通機能	1	ログインユーザーの権限により、機能を制限できること	
1		1		2	エラー発生時、一覧画面にてエラー内容を確認できること	
1		1		3	画面レイアウトはマスタ設定で変更できること	
1		1		4	帳票レイアウトはExcel形式であり、Excelを編集することで変更できること	
1		1		5	統計の出力項目をマスタ設定で変更できること	
1		1		6	コードによる入力時、マスタの参照入力ができること	
1		1		7	マスタの参照入力時、名称の一部を入力することで、マスタ表示内容の絞り込めること	
1		1		8	コードによる入力時、コード入力エリアと名称表示エリアを同一とすることでマスタの参照をより多くできること	
1		1		9	一覧画面から詳細画面、詳細画面から前回値画面、帳票出力画面等への遷移が簡単にできること	
1		1		10	詳細入力画面の表示検体に関するワークシートや培地ラベルなどの帳票をワンボタンで出力できること	
1		1		11	詳細入力画面の前回値リストや感染履歴一覧が表示できること	
1		1		12	帳票毎に専用の出力指示画面を設定でき、出力条件も複数設定できること	
1		1		13	データの抽出条件は初期値の設定が可能であり、初期値は必要に応じて変更できること	
1		1		14	日付を条件とした範囲指定時、カレンダーによる日付指定ができること	
1		1		15	日付を条件とした範囲指定時、カレンダーにて開始と終了を一度に指定できること	
1		1		16	各画面のメニューボタンはマスタ設定により変更できること	
1		1		17	各画面のメニューボタンは24個以上設定できること	
1		1		18	各画面のファンクション（操作処理）ボタンはマスタ設定で変更できること	
1		1		19	各画面のファンクション（操作処理）ボタンは稼働後も容易に変更できること	
1		1		20	各画面のファンクション（操作処理）ボタンは1画面につき、48種類以上設定できること	
1		1		21	ログインユーザー毎に権限レベルを設定でき、メニュー及びサブメニューの表示内容を変更できること	
1		1		22	ワイドモニターに対応できること	
1		2	到着確認	1	電子カルテ又はオーダーリングシステムで出力された採取ラベルバーコードを読み取り、検体の到着確認ができること	
1		2		2	一般細菌、抗酸菌、迅速検査の到着確認ができること	
1		2		3	一般細菌は、材料グループ毎に検体番号の番号帯を指定し、到着確認ができること	
1		2		4	採取予定日から一定期間が過ぎたオーダー情報は、一括で削除できること	
1		2		5	到着確認時、電子カルテ又は上位システムに対し、結果カラ電文の送信ができること	
1		2		6	到着確認時、培地ラベルの出力ができること	
1		2		7	到着確認を実施した検体の依頼詳細情報を画面に表示できること	
1		2		8	採取日の未来日チェックが可能であること	
1		3	受付入力	1	受付入力時、1検体ごとに検査依頼と患者属性情報の登録及び訂正ができること	
1		3		2	受付入力時、検体番号の自動採番ができること	
1		3		3	検体番号発番は、日付及び番号で任意指定ができること	
1		3		4	検体番号は、年通番、月通番、日通番から選択できること	
1		3		5	一般細菌、抗酸菌で個別に検体番号の通番方法を選択できること	
1		3		6	受付入力時、入力簡素化のために、前検体番号の患者情報の複製ができること	
1		3		7	同一検体番号にて、一般細菌、抗酸菌、迅速検査の依頼項目を選択できること	
1		3		8	受付入力画面から、前回値画面へ遷移できること	
1		3		9	詳細受付画面に表示されている検体情報を培地ラベル（帳票）に出力できること	
1		3		10	材料、検査依頼の組み合わせにより、培地情報を自動で表示できること	

大項目	中項目	小項目	回答
1	3	11 感染履歴として、特定菌毎に初回、前回、最新の検出日付を持つことができること	
1	3	12 感染履歴の特定菌は20種類まで指定できること	
1	4 依頼受付チェックリスト	1 受け付けた検体を対象に検体情報の一覧を出力できること	
1	4	2 受付チェックリストの出力管理ができること	
1	5 未到着リスト	1 未到着検体の一覧を出力できること	
1	5	2 一覧画面から未到着リストを印刷できること	
1	5	3 未到着リスト作成時、「印刷済み」の検体は対象外にできること	
1	6 ワークシート	1 ワークシートを出力できること	
1	6	2 1 検体に対して複数のワークシートフォーマットを出力できること	
1	6	3 ワークシートの出力管理ができること	
1	6	4 ワークシートに前回値を印字できること	
1	6	5 前回値情報として、全材料、同一材料、同一材料グループを選択して表示できること	
1	7 培地ラベル	1 培地ラベルの印刷ができること	
1	7	2 培地ラベルは材料毎の検査項目により培地毎に必要な枚数分を印刷できること	
1	7	3 培地ラベルは目的菌毎により培地毎に必要な枚数分を印刷できること	
1	7	4 培地ラベルは依頼項目毎、材料毎、目的菌毎に枚数を設定し印刷できること	
1	7	5 培地名を印字できること	
1	7	6 培地ラベルの出力管理ができること	
1	8 一般細菌結果入力(詳細)	1 一般細菌、特殊(迅速)検査の結果登録及び訂正は1検体毎に行なえること	
1	8	2 詳細結果入力画面から、前回値画面へ遷移できること	
1	8	3 塗抹鏡検の画像を表示できること	
1	8	4 検査結果は、コード入力ができること	
1	8	5 結果入力エリアにワンボタンでマスタを表示し、マスタは文字列検索機能で一覧から絞り込めること	
1	8	6 コメントの入力エリアはコード入力、フリー入力に対応していること	
1	8	7 塗抹鏡検検査からBVSスコアを自動で計算できること	
1	8	8 1 検体あたり10菌株の結果を登録できること	
1	8	9 1 菌株あたり64薬剤の結果を登録できること	
1	8	10 薬剤感受性結果はMIC値、阻止円径、判定を入力できること	
1	8	11 菌と薬剤MIC値の組み合わせにより、判定の自動計算ができること	
1	8	12 菌と薬剤阻止円径の組み合わせにより、判定の自動計算ができること	
1	8	13 判定の自動計算は、マスタの設定により条件の追加及び変更ができること	
1	8	14 同定、薬剤感受性結果の入力内容により、警告菌チェック(警告・耐性・異常・注意)ができること	
1	8	15 警告菌チェックに該当した薬剤感受性結果の薬剤にマークを表示できること	
1	8	16 βラクタマーゼや株別のコメント、バイオタイプの入力内容により、警告菌チェックができること	
1	8	17 無菌材料からの菌検出内容により、警告菌チェック(警告・耐性・異常・注意)ができること	
1	8	18 警告菌チェックにて菌名の変更及び菌説明コメントエリアにマスタ設定したコメントを自動で表示できること	
1	8	19 警告菌チェックはマスタの設定により条件の追加及び変更ができること	
1	8	20 警告菌チェックにて菌名の変更後、再度、判定の自動計算ができること	
1	8	21 警告菌チェックは、菌株コメントで菌名変更ならびに感染履歴を持つことができること	
1	8	22 菌名、菌量などの結果は、マスタで指定した色で表示できること	

大項目	中項目	小項目	回答
1	8	23 薬剤感受性結果の時系列参照ができること	
1	8	24 薬剤感受性結果の時系列参照画面にて感受性時系列結果の複写入力ができること	
1	8	25 パネル指定時の薬剤以外に、使用（投与）薬剤、追加薬剤を感受性薬剤として、展開可能であること	
1	8	26 迅速検査結果として、定性値、定量値、コメントの入力ができること	
1	8	27 前検体、次検体へはワンボタンで表示切替ができること	
1	8	28 1 検体毎に受付済み検査依頼を削除できること	
1	8	29 結果入力画面で表示した検体の報告書を出力できること	
1	8	30 結果入力画面で表示した検体の結果情報を電子カルテに送信できること	
1	9 抗酸菌結果入力(詳細)	1 抗酸菌検査の結果登録及び訂正は1 検体毎に行なえること	
1	9	2 詳細結果入力画面から、前回値画面へ遷移できること	
1	9	3 塗抹鏡検の画像を表示できること	
1	9	4 検査結果は、コード入力ができること	
1	9	5 結果入力エリアにワンボタンでマスタを表示し、マスタは文字列検索機能で一覧から絞り込めること	
1	9	6 コメントの入力エリアはコード入力、フリー入力に対応していること	
1	9	7 塗抹鏡検の結果入力時、蛍光法及びチールネンゼン法の検査結果を入力できること	
1	9	8 P C R 検査結果を入力できること	
1	9	9 培養検査は固形培地、液体培地の検査結果を入力できること	
1	9	10 1 検体あたり3 菌株の結果登録ができること	
1	9	11 1 菌株あたり5 項目の同定検査の結果登録ができること	
1	9	12 1 菌株あたり3 2 薬剤の結果登録ができること	
1	9	13 薬剤結果は耐性検査、感受性検査の結果入力ができること	
1	9	14 1 検体毎に受付済み検査依頼を削除できること	
1	9	15 結果入力画面で表示した検体の報告書を出力できること	
1	9	16 結果入力画面で表示した検体の結果情報を電子カルテに送信できること	
1	10 一般細菌結果入力(一覧)	1 塗抹検査、迅速検査の結果登録及び訂正は1 画面で複数検体の入力ができること	
1	10	2 一覧入力画面で対象となる検体を目的に応じて絞り込みできること	
1	10	3 一覧入力画面で対象となる検体の表示順を変更でき、一覧順に入力ができること	
1	10	4 一覧入力画面で同一結果の一括入力ができること	
1	10	5 一覧入力画面から詳細画面に遷移可能であること	
1	10	6 一覧表示されている検体の報告書を出力できること	
1	10	7 一覧表示されている検体の結果情報を電子カルテに送信できること	
1	11 抗酸菌結果入力(一覧)	1 塗抹、PCR、培養の結果登録及び訂正は複数検体を1 画面で入力できること	
1	11	2 一覧入力画面で対象となる検体を目的に応じて絞り込めること	
1	11	3 一覧入力画面で対象となる検体の表示順を変更でき、一覧順に入力できること	
1	11	4 一覧入力画面で同一結果の一括入力できること	
1	11	5 培養検査は固形培地、液体培地の検査結果を入力できること	
1	11	6 固形培養は培養週毎に指定して入力できること	
1	11	7 一覧表示されている検体の報告書を出力できること	
1	11	8 一覧表示されている検体の結果情報を電子カルテに送信できること	
1	12 前回値表示	1 詳細画面又は一覧画面でカーソル指定されている患者IDから、ワンボタンで前回値画面に遷移できること	

大項目	中項目	小項目	回答
1	12	2 前回値情報として、全材料、同一材料、同一材料グループを選択して表示できること	
1	12	3 基準となる検体から前回値検体、全検体を選択して表示できること	
1	12	4 一般細菌の前回値画面に表示されている検体から、指定された菌を時系列で参照できること	
1	12	5 一般細菌の培養同定エリアで指定された菌の時系列表示から、薬剤感受性結果を薬剤毎に時系列で表示できること	
1	13 分析器オンライン	1 分析器へ依頼情報の送信及び結果情報の受信ができること	
1	14 報告書	1 検査結果報告書を出力できること	
1	14	2 1 検体に対し、複数種類の報告書を出力できること	
1	14	3 報告書毎に出力管理ができること	
1	14	4 詳細画面で指定した報告順で、菌株毎の結果を並び替えて印字できること	
1	15 検査結果台帳	1 検査結果台帳を出力できること	
1	15	2 検体毎の登録菌株数により、印字行数を可変に出力できること	
1	16 管理帳票	1 検査終了後の特定情報を一覧帳票に出力できること	
1	16	2 医事会計追加検査一覧を出力できること	
1	16	3 感染対策提出用の特定菌検出一覧を出力できること	
1	17 任意データ抽出	1 指定の条件で抽出された検体情報をCSVファイルに出力できること	
1	17	2 一般細菌・抗酸菌・特殊検査の結果データを出力できること	
1	17	3 一般細菌・抗酸菌の結果データは検体単位及び菌株単位に出力できること	
1	17	4 データ抽出で同検体判断の設定ができること	
1	17	5 感染対策用の特定菌検出一覧を出力できること	
1	17	6 感染対策用の特定菌はマスク設定にて追加及び変更ができること	
1	17	7 特定菌検出情報は新規検出のみで出力できること	
1	17	8 JANIS検査部門のフォーマット形式でサーベイランスデータを出力できること	
1	17	9 MRSA検出患者一覧を出力できること	
1	17	10 警告菌検出患者一覧を出力できること	
1	18 検索	1 検索画面にて検体の検索後、対象検体の検査結果の問い合わせができること	
1	18	2 検索画面にて、患者番号、患者名、科、病棟等で検体の検索ができること	
1	18	3 検索後、ワンボタンで対象検体の結果入力画面へ遷移し、結果入力ができること	
1	18	4 検査進捗状態を1 検体毎に抽出でき、進捗状態を一覧表示できること	
1	19 統計	1 統計画面から、検索条件に合致した検体を対象に各種統計の出力ができること	
1	19	2 統計結果は表及びグラフで出力できること	
1	19	3 統計結果はExcel形式で出力できること	
1	19	4 統計画面から、検索条件に合致した検体を対象に菌出現率を出力できること	
1	19	5 菌出現率の統計出力時、同検体判断をマスクにて設定できること	
1	19	6 統計画面から、検索条件に合致した検体を対象に菌陽性率を出力できること	
1	19	7 菌陽性率の統計出力時、同検体判断をマスクにて設定できること	
1	19	8 統計画面から、検索条件に合致した検体を対象に菌検出率を出力できること	
1	19	9 菌検出率の統計出力時、同検体判断をマスクにて設定できること	
1	19	10 統計画面から、検索条件に合致した検体を対象に薬剤感受性率が出力できること	
1	19	11 薬剤感受性率の統計出力時、同検体判断をマスクにて設定できること	
1	19	12 薬剤感受性率の%計算は、小数点以下を切り捨て計算にできること	

大項目	中項目	小項目	回答
1	19	13 統計画面から、検索条件に合致した検体を対象に累積MIC率を出力できること	
1	19	14 累積MIC率の統計出力時、同検体判断をマスタにて設定できること	
1	19	15 統計画面から、検索条件に合致した検体を対象に特殊検査陽性率を出力できること	
1	19	16 特殊検査陽性率の統計出力時、同検体判断をマスタにて設定できること	
1	19	17 検体件数が出力できること	
1	19	18 依頼科別に血液培養陽性セット率を出力できること	
1	19	19 依頼科別に複数セット内の陽性率を出力できること（1/2陽性率、2/2陽性率 等）	
1	19	20 病棟別に血液培養陽性セット率を出力できること	
1	19	21 病棟別に複数セット内の陽性率を出力できること（1/2陽性率、2/2陽性率 等）	
1	19	22 依頼科別に血液培養コンタミ率を出力できること	
1	19	23 病棟別に血液培養コンタミ率を出力できること	
1	20 集計	1 各種検査依頼項目の件数集計ができること	
1	20	2 薬剤感受性検査は感受性検査実施済の株数から件数集計ができること	
1	20	3 薬剤感受性検査は真菌のみで件数集計ができること	
1	20	4 各種検査依頼等の件数と、その件数に医事点数を積算した集計ができること	
1	21 電子カルテ連携	1 電子カルテとのオンライン接続が可能であること	
1	21	2 細菌部門のオーダー情報の受信、到着確認情報、検査結果情報の送信が可能であること	
1	22 データ保存	1 外部媒体に検査データ及びマスタを保存できること	
1	23 マスタメンテナンス	1 マスタメンテナンス画面にて材料マスタ、菌マスタ、薬剤マスタ等のコードを容易に修正、登録できること	
1	23	2 マスタメンテナンスは権限を付与されたログインユーザーのみ、修正、登録できること	
1	24 帳票レイアウト設定	1 帳票は、文字のフォント、ポイントの指定が自由に設定できること	
1	24	2 帳票は、罫線でポイント、実線又は破線の指定が自由に設定できること	
1	24	3 帳票は、網掛け、色指定が自由に設定できること	
1	24	4 帳票は、縦連、横連が自由に設定できること	
1	24	5 帳票は、一般細菌と抗酸菌で20種類ずつのフォーマット設定ができ、カラー印刷できること	
1	24	6 帳票は、検体番号及び患者番号のバーコード情報が印字できること	
1	25 画像	1 画像取込み画面にて、任意のフォルダーから指定画像を取込めること	
1	25	2 画像を帳票に印字できること	
1	25	3 画像毎に関連するコメントを登録できること	
1	25	4 画像毎に登録したコメントで画像を検索できること	
1	25	5 画像編集機能として、登録した画像に丸や四角などの図形、線、矢印、コメントなどを記載できること	
1	25	6 画像に表示するコメントはフォント、サイズ、色を指定できること	
1	26 保存菌株管理	1 保存菌株管理画面にて、保存菌株の管理ができること	
1	26	2 保存菌株管理画面にて、保存菌株用にラベルやリストの出力ができること	
1	26	3 保存菌株管理画面にて、過去に登録した保存菌株の結果を参照できること	
1	27 データ移行	1 現行システムより費用がかからずデータ移行が行なえること	